

三庄地区かわまちづくり

～吉野川の雄大な自然の中で遊び、楽しむ多様な交流拠点づくり～

三庄地区かわまちづくりとは

「かわまちづくり」とは、地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な空間形成を目指す取り組みです。

吉野川中流に位置する三庄地区は、堤防の外に広い河川敷を有しており、これを活用することで観光や地域の発展が期待されています。しかし、三庄地区においては、整備されていない竹林により「水面が見えない」、「安全に水面に近づく箇所が少ない」等の課題が生じており、広大な河川敷を有効に活用できていませんでした。

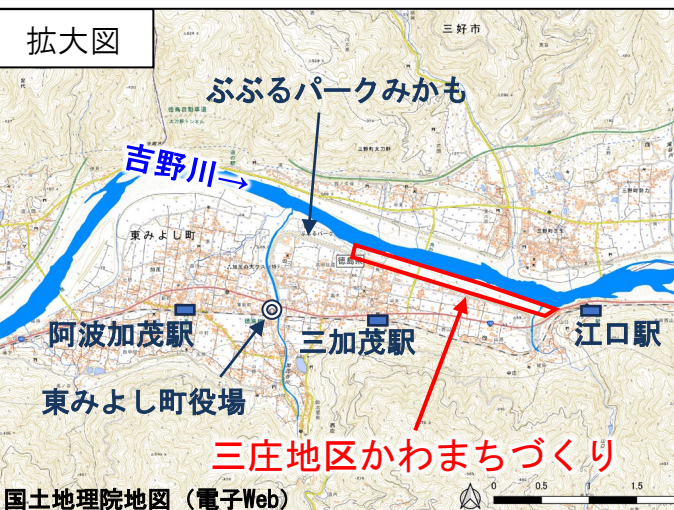
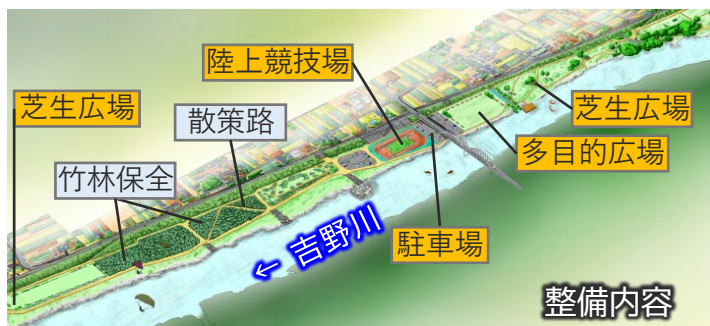
「三庄地区かわまちづくり」は、吉野川の河川敷において良好な空間を形成して水辺の体験活動を推進するプロジェクトで、国土交通省と東みよし町等が協力して実施しました。陸上競技場や多目的広場、駐車場、散策路等の整備によって河川敷の利用を推進するとともに、竹林保全などの自然環境や景観にも配慮した整備を行いました。（平成27年度から事業を開始し、令和元年度に完了）

三庄地区かわまちづくりの事業箇所



整備内容（１）

国土交通省が竹林保全と散策路を整備し、東みよし町が陸上競技場、芝生広場、多目的広場、駐車場を整備しました。



吉野川における事業の動画紹介

三庄地区
かわまちづくり



（他の事業紹介）

吉野川上流
かわまちづくり



旧吉野川
自然再生事業



事業評価アンケート

ご協力をお願いします。



回答期間
7月22日（火）～8月17日（日）

整備内容（2）

【整備前】

一帯が竹林で、水際には植物が生い茂っていることから、河川敷や水辺の利用ができない状態でした。



【整備後（現在）】

河川敷に広場や競技場、駐車場などが整備され、陸上競技の練習やスポーツイベント等に活用されています。また、竹林保全箇所には散策路が整備され、景観もよくなり、自然とのふれあいを楽しむことができます。



整備後の利用状況

陸上競技場や駐車場、また散策路等が整備され、地域住民の方に利用されています。



期待される効果

- 「にし阿波～剣山・吉野川観光圏整備計画」の観光資源として、水辺利用の促進や観光客の集客につながります。
- 竹林保全箇所への散策路整備や芝生広場の整備によって、自然との触れ合いが生まれます。
- 駅伝大会の招致など、スポーツ大会の開催を通じて地域の活性化につながります。